

情報ネットワーク

高畠高等学校進路通信
2013. 6. 21 発行

来週から、1年生にとっては高校に入学して初めての、そして、3年生にとっては進路を決定する上で大切な1学期期末テストが始まります。計画的な学習を心がけて試験に臨みましょう。学校説明会の報告を紹介します。夏休み、各大学・専門学校ともオープンキャンパスが行われます。学校で手続きを行っているところ以外は自分で申し込での参加になります。



参加高校 34校

富澤学園理事長、学長挨拶および概況説明

- ・学生 2000 名、教員 200 名 学生は山形以外に新潟や東京などからの出身者もいる
- ・来年 3 月第 1 期生が卒業する
- ・短大の就職率は不況の中でも 99.4%とかなり高い。(数年前は 100%だった。)

○東北文教大学人間科学部子ども教育学科○

学科説明

- ・1 学年 90 人。濃い人間関係を築くことができる。
- ・教員免許に関して、以前は小学校・中学校両方取るように言われていた。しかし分野を絞り、小学校・幼稚園・保育園の免許は短大に移すことになった。
- ・教育実習は 2 年に分けて行われる。4 年生時だけの実習では課題を感じるだけでその課題を活かす機会を実戦に出てからでないといふ。しかし 3 年生と 4 年生両方で実習をすることで、3 年生で得た課題を大学で学び、4 年生の実習で活かすことができる。
- ・母校での実習は行わない。山形市近郊の学校に分散して行われる。

進路先状況

小学校教諭は 24 年度の採用はない。25 年度からは首都圏の自治体から大学推薦の受験募集がある。この場合 1 次試験免除となる。
幼稚園・保育園は希望者全員が就職。
一般企業は 24 年度は希望者なし。大学院へ進学した者が 1 名。

入学者選抜説明

- ・指定推薦 定員 15 名 選抜日 26/11/23
- ・公募推薦 定員 10 名 選抜日 26/11/23
- ・A0 予備相談 9/14, 21 課題が提示され、それを十分に考えた上で本相談となる

- ・インタビュー 課題は当日与えられる。志望学科に対する意欲や適性を審査。試験時間は 1 時間。いかに自己アピールできるかがポイントになる。評定平均も大事。
- ・一般試験 定員 前期 40 名 選抜日 27/02/06 後期 5 名 27/03/14
国語総合 英語 I・I, II・リーディング・ライティング 小論文(60 分、800 字)
小論の出来がポイントになる。
- ・センター利用 前期 12 名 後期 3 名
国語、英語、その他得点の高い 2 科目 個別試験は無し

○東北文教大学短期大学部○

総合文化学科

- ・卒業研究として 8000 字以上の論文提出。発表あり。研究で得た忍耐力などを社会で役立たせたい。
- ・就業力、社会人としての生きる力、基礎力を身につけさせたい
- ・24 年度の進路先として、一般企業・公務員 85%だった

子ども学科

- ・総合的実践力をいかに身につけさせるかを考えている。学び続けられる向上心を植え付けてあげたい
- ・パンフレットにあるディプロマポリシーを理解したら卒業という形になる。
- ・入学に関してはパンフレットのアドミッションポリシーを読んでよく考えて欲しい。入学試験の内容もそれに従うものとなる。
- ・進路先として、24 年度の幼稚園・保育園へは 98.9%だった。うち公務員保育士が 1 名だった。

人間福祉学科

- ・平成 27 年からは国家試験を受けるための資格が必要になる。(一般実務 3 年→実務者研修 6 カ月→国家試験)
- ・介護福祉施設への就職率は 24 年度 100%だった

進路について

- 編入学などで進学した学生は 16 名だった。
- 職種に合わせた進路プログラムを週 1 回行っている。教員採用試験、保育職の同時進行で支援していくことも可能である。

入学者選抜説明

指定推薦 基本は評定値だが、評定が低くても活動実績があれば評価する。
公募推薦 調査書と活動実績。コミュニケーション能力や礼儀正しさも見られる。
A0 学科ごとに 1 度のみ受けることが可能。

(例:総合文化学科と子ども学科を両方受験可能。公募推薦と組み合わせることもできる。)

インタビュー 12 月(前期)には子ども学科はない。3 月(後期)は 3 学科ともある。

また、大学・短大の一般入試の日は同じ。両方受けるのであればセンター利用とインタビューの併用などができる。

○質疑応答

Q:奨学金はいつ使えるようになるのか。振り込まれるのはいつになるのか。

A:5月までに書類を提出してから適用となる

本校の卒業生が東北文教大学短期大学部のパンフレット
に登場したので掲載します。

参加高校 県内25校

学長あいさつ

- ・平成25年度 設立20周年
- ・①少人数教育 ②実験実習 ③就職率100% ④低学費 ⑤地域産業密着

学校概要説明

- ・平成4年10月 全国初の県立短期大学校として労働大臣より設置許可
- ・平成5年4月 開校 4学科
- ・平成9年4月 庄内校開校
- ・平成15年4月 産業情報専攻科設置
- ・平成22年4月 学科改変 5学科
- ・平成25年 設立20周年(10/5 記念式典開催予定)

募集要項説明(要項の通り)

- ・推薦入学のA区分、B区分について 今後はなくなる 26年度は区分あり

その他

- ・配布資料以外の情報は特になし
- ・普通高校からの入校でも、授業には支障なしとのこと
- ・就職率22年度から連続100% 地元企業とのつながり
- ・サークル(花笠)アピール



情報ネットワーク

高島高等学校進路通信
2013. 6. 6発行

衣替えも終わり、爽やかな日が続いています。県高校総体に向けて必死に部活に打ち込んでいる生徒もたくさんいるでしょう。進路課通信「情報ネットワーク」では、各大学、専門学校等の学校説明会に参加された先生からの報告を生徒の皆さんにも紹介していきます。



桜の聖母短期大学 学校・入試説明会 岡村 悦男先生より

キャリア教養学科（平成24年度入学生より新設）

教育目標：豊かな教養と英語力を身に付け、新たな社会作りに貢献できる人材の育成

求める学生像：賢さ明るさ思いやりを備え心のこもった挨拶ができる素直で品性のある人

コミュニケーション力を備え、さまざまな人に積極的に奉仕できる人

学習する力を備え、学びを深め、自信に満ちて生きる人

受験生に求めるもの：自ら考え行動し、あらゆることに積極的に参加する意欲

英語を通して多様な人とコミュニケーションをとる意欲

現代社会を理解するための教養と自立のための実学への意欲

取得可能な資格：図書館司書、社会福祉主事任用資格、ビジネス実務士、実践キャリア実務士

目指せる主な進路：公務員、秘書、社会福祉主事、図書館司書、プライダル業、エアライン、金融業、観光・ホテル業、4年制大学編入、留学など

生活科学科福祉こども専攻こども保育コース

主な特徴：一年次前期より保育参加観察をするなどして、こどもたちや保護者とじかに触れ合い、

関わりのなかで学ぶことを重要。考え続ける力、保育の表現や技術、協働する力を高め、

保育を続けていく意欲を育てる。

取得可能な資格：保育士資格、幼稚園教諭二種免許、ビジネス実務士、社会福祉主事任用資格

目指せる進路：保育士（保育所・保育園、児童養護施設、障害児入所施設、児童センター、障害者支援施設）、幼稚園教諭、公務員（保育職）、一般企業

生活科学科食物栄養専攻

目指す栄養士：確かな知識を身につけ、ライフステージ別の食育を推進できる栄養士
体験学習を通して、地域と連携し、畑と食卓をつなぐ栄養士

料理技術を高め、笑顔を引き出すファッションナブルな栄養士

発表会や報告会を通して、伝える力を身につけた栄養士

取得可能な資格：栄養士免許、栄養教諭二種免許、ビジネス実務士、社会福祉主事任用資格

目指せる進路：保育園の栄養士、薬局の栄養士、病院の栄養士、食品会社（商品開発）、高齢者施設の栄養士、一般企業（社員食堂）

その他特記事項

・卒業生の進路：全体就職率 98.7%（正規社員は76%）

編入者はのべ19名（福島大学、山形大学、宇都宮大学、群馬大学、その他東北関東の私立大学）

・文部科学省採択の平成24年度大学間連携共同教育推進事業に参加

・入学金減免制度・本学独自奨学金あり

・2014年度公募制推薦入試における変更点

→国語基礎（60分）を廃止し、学科専攻コースからの「レポート課題」へ変更



羽陽学園短期大学 高等学校との進学懇談会（報告） 荒井 ゆり子先生より

参加高校 県内40校 県外（宮城県）1校

学長あいさつから（研攻一 学長）

①教育方針（ねらい）

・心が解放される学生 ・相手（場）にふさわしい態度がとれる学生 ・自分を育てる学生

②小さい館内（小規模短大）→手作りの教育 face to face

③新入生支援講座（5月病などの学生対策） 担任制

④基礎科目入門

⑤幼児教育コース 福祉コース 定員なし（完全）希望性

⑥H27から 幼保連携型こども園

- ⑦幼稚園教諭免許と保育士資格 両方ないとこれからは事実上 就職困難
- ⑧横浜市…待機児童0 関東圏では保育施設増により、保育士の求人も大幅増
山形市 このみ保育園 14人採用してもらった
その他 4つ山形市内に増園→求人は増えている
- ⑨専攻科（羽陽…専攻科福祉専攻）1年間の専攻科は東北で4つだけ
H27 から国家資格取得しないとダメ（専攻科…実技試験のみ免除）
- ⑩H27.4.1 開園 老人施設 → 実習校ができる
都市部以外でも老人ホームでは超人手不足
- ⑪26年度は105名とるつもり（要項上の定員は100名）
現在120名（定数オーバー）←厚労省のチェック 定数守るようにとの指導があった
（ということで、5名オーバーが限界）
- ⑫推薦合格なのに…授業料は分割でも仕方がないが、入学金が払えないのは困る
予約奨学金利用するなどしてほしい
- ⑬心身に問題がある生徒が受験する場合は事前に連絡を
それが直接合否に影響することはない（危機管理の観点）

H24 進路状況（笹原真一 学生課長）

○幼児教育科	専門（認可保育所・幼稚園・認定こども園・児童関係・福祉施設）…	81
	一般	… 2
	進学（本学専攻科等）	… 38 ← ※多い
	その他（おそらく留年・就職浪人）	… 3
	合計…	124
○専攻科	専門（老人福祉・老人保健・障害者・シルバービジネス・幼・保）…	37
	進学	… 1
	合計…	38

※幼児教育科は38人も進学している

- 県内でも保育士の求人が増えてきているとは言えるものの、どうなのか？（報告者分析）
- 専攻科は、進学1人を除いた37人中2人のみが幼稚園・保育所で、35人は介護関係
- 介護施設での人手不足は、そうなのだろう
- 保育所・幼稚園での就職が困難だから、もう一年在学（進学）して介護福祉士になっているのでは？

H25 入学状況について（菅原和敏 教務課長）

- 推薦 受験者数 110人 合格者102人（男子9人） 倍率1.2
 - 一般（一期、二期、三期）受験者（14.3.4）人 合格者（5.1.2）人 倍率 2.8 3.0 2.0
- つまり羽陽は、特別推薦=指定校と一般推薦でほぼ定数を確保している（102人）
一般では8人のみ

H26 入学者選考試験について（柏倉弘和 入試企画室）

学生募集要項（幼児教育科）参照のこと

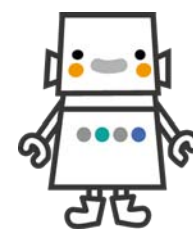
口頭で説明があった事項

- ①募集105人 うち95人を推薦でとる
- ②特別推薦の評定は3.5以上
特別推薦=指定校の人数は既に各高校に通達済み（5月）高島高校は1人
ただし、希望者が多い時は9/30までの申し出により各校指定数の2倍まで可
（高島高校なら2人まで可）
特別入学願書・推薦書は10/4付発送
- ③一般入試 三期は行わない

H25 オープンキャンパスについて（花田嘉雄 入試企画室）

7/21（日） 8/18（日） 10/6（日） 10:00～15:00

事前に申し込むこと



オープンキャンパスの申し込み
は進路へどうぞ。